



2024年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」 受賞者発表

学生のみなさん、ご投票ありがとうございました。
1,469件の投票の結果、以下9名の先生方が2024年度
「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者として決定しました。

おめでとうございます！

2024年度受賞者

テーマ：ねえねえねえあなたの1番好きな先生を教えてください～♪
－ 沼るほどに夢中になる授業をしてくれる先生は誰だ？ －

教養部門

白井 隆長（兼任講師）
細沼 祐介（兼任講師）

専門部門

遠藤 野ゆり（キャリアデザイン学部教授）
金子 匡良（法学部教授）
新谷 優（グローバル教養学部教授）
吉田 一朗（理工学部教授）
李 舜志（社会学部准教授）

グローバル・語学部門

乾 浩（兼任講師）
鈴木 理枝（兼任講師）

※五十音順、敬称略

*なお、以下の先生方は、殿堂入りされている先生です。
殿堂入りとは、5年度以内に3回受賞した教員を対象とし、殿堂入り後は選出
対象となりません。

後藤 一美（法学部教授）
塩崎 公靖（兼任講師）
鈴木 美伸（兼任講師）
徐 玄九（兼任講師）
富所 明秀（兼任講師）

植木 紀子（法学部教授）
川島 健司（経営学部教授）
辻本 昭彦（生命科学部任期付准教授）

※受賞年度順、敬称略
※殿堂入り教員の所属・身分は受賞当時のもの

<主催>

教育開発支援機構「学生が選ぶベストティーチャー賞」実行委員会

2024年度

学生が選ぶベストティーチャー賞



ベストコメント賞発表

今まで戦争、マイノリティ、弱い立場の人のことを知識としては知っていましたが、自分と関連しているという自覚がありませんでした。しかし、この授業を受け、弱い立場の人々がどのような社会の構造で苦境を受けているのかを深く理解できました。世の中のあらゆる差別や政治や出来事が自分と繋がっているもの、ということに改めて気がつきました。この授業のあとから世の中の様々な出来事について色々考えるようになりました。先生が弱い立場の人を追い詰めないことが大切だと言っていて、とても心に残りました。私もこの考えをこの先ずっと持っていきたいです。授業では中々見ることのできない貴重なビデオを観たり、記者ならではの視点で話をしてくれたり、どの授業も興味深かったです。沖縄のことを中心にして、体系的に様々なことを学びました。私は特に政治家については知識があまりなかったのですが、とても分かりやすかったです。



授業で得られた知識や新たな気づきが実生活に結びついていることが感じられますね！



学生一人ひとりに目を配り、褒めて成長を促してくださったことが印象的です。私はサッカーを習った経験がなく、スキルもあまりありません。けれども、サッカーを見ることは好きであり、実際にプレイをして技術を高めるとともに、戦術を学びたいと思って受講しました。授業を履修した学生の大半は経験者であり、練習メニューにも難しいところがありました。精一杯取り組んでいると、良いプレイは見逃さずに褒めてくださいました。それが自信になり、モチベーションを高めることにも繋がりました。また、ミスをして、「いいよいいよ！ナイスチャレンジ！」と声を掛けてくださり、自信を持って挑戦できるようになったことも嬉しかったです。授業の中で名前を呼んでくださることもあり、やりやすいと感じました。まず褒めるというスタンスが私にとっても合っていて、毎回の授業が楽しかったです。戦術も図式化して説明してくださり、観戦もより楽しくなりました。

先生のアドバイスやフォローが的確で、より競技への思いが深まった様子が伝わってきますね！



Best comment award



授業の中にはたくさんの仕掛けがあり、学生全員が発言しやすいような雰囲気を作られています。先生の一つ一つの言動に意見を出しやすくする工夫があり、教室にいる全員が思ったこと感じたことを正直に言うことができ、先生は学生の発言を道徳の内容に上手く結びつけてくれます。今まで、当たり前のように思っていたことも、当たり前ではないのだということ、ただ言葉で教えるのではなく、学生の中の意見の違いを引き出し、実際に経験させてくれます。先生の雰囲気作りによって、学生全員が過ごしやすい授業が作られています。こんなにも楽しいと思った授業、学んでいるなと感覚がある授業、自分自身が成長できているなと感じる授業ははじめてです。自分が自分らしくいられる場所、そうあることを認めてくれる場所が、先生の授業です。1週間のなかで、必ず出席したい、グループ班のメンバーと会いたい、先生の話を知りたいと最も強く思う授業・先生です。

今年のテーマでもある授業へ「沼る」様子が伝わってきます。先生の授業を受けてみたいくなります！



授業がとても工夫されていて飽きることがないです。それは、先生が分かりやすいスライドを作って説明してくれたりディスカッションの時間を設けてくれているからです。グループでの作業があり大変でしたが、将来働くときにとっても大切だと思うので貴重な体験でした。授業内容だけでなく授業形態（グループ作業など）もとても実用的なものでした。先生のすごいところは授業だけではありません。なんと、中間のwriting課題のフィードバックを一人ひとりにビデオで送ってくれたのです。そのビデオは良くできていたところ、課題点など一人ひとり違ったフィードバックをしてくれました。それは次回以降の課題に役立つとても有益なものです。こんなに学生の課題に向き合ってくれる先生は他にいません。また、授業後に質問しても快く答えてくれます。いつも学生に向き合ってくれている感じが様々なことから伝わります。

一人ひとりと向き合い、学生の成長を真剣に考えた授業であることがわかりますね！



Best comment award

とにかく学生に親身になってくださいます。ある講義終わりに偶然教室に残って、授業の内容から少し逸れたような質問をしてしまった時、先生はその場でも「そう思われる」という応えを返してくださったのですが、その30分ほど後に、大学のGmailで直接、質問に対する確かな答えを送っていただきました。毎回のフィードバックが丁寧なことも併せて考えますと、学生の些細であり重要でなさそうな疑問一つひとつを無下にせず対応してくださる、この上なく素敵な先生だと思います。毎回100枚にもなるリアクションペーパーの内容を次の授業の冒頭に丁寧に時間を割いてフィードバックしてくださるので、学生としても授業に参加している、という実感を強く持てて、いわゆる双方向的な授業の理想形であり、素晴らしい講義でした。

学びたい学生の意欲に応える先生の姿勢が伝わってくるコメントですね！



教育実習前の授業で、実際に教育実習に行った時のことを想定したシミュレーションや先輩の教育実習の体験談を聞く機会を設けてもらい、自分がこれから行う教育実習に対してどのような姿勢で臨めばよいのか、何を準備しておくべきなのかが明確になった。小学生の科学教室のサポートを行った時には予想以上に小学生の知識が豊富なことや、理科に興味をもって学ぼうという姿勢に驚いた。また、結晶モデルの作成や解剖などを実際に行う中で、生徒に対してどのような学びを提供できるのかを深く考えることができた。模擬授業では、グループワークやICTの活用を行いオリジナリティを出すことのできる貴重な機会だと感じた。このように、教員になるうえで必要な学びの機会を余さずに提供していただいているということから素晴らしい先生であると思う。

学生の自主性や学びを第一に考えた授業が展開され、教職を目指す学生にとって充実した内容であることが伝わってきます！



Best comment
award

私は先生の授業を受講して非常に良かったと思っています！まず、この講義のコンセプトは安全とは何かを知ること。受講者は科学的根拠に基づき世の中の環境問題について考えます。“基準値なくして安全は語れない”目に見える科学を以って環境問題を語ります。このようにこの講義では世の中にあふれる環境問題を正しい知識を以って向き合うことが出来ます。そしてこの講義の最も良い点は毎回課されるレポート課題が非常に有意義であるということです。毎回の講義で扱ったテーマに関するレポートを平均300字程度でまとめます。これにより講義内容を復習できます。さらに次の講義ではレポート課題のフィードバック、15点満点の採点評価がされるのでモチベーションにつながります！
とにかく、レベルの高い講義内容！先生の講義に臨む姿勢が丁寧！聞きやすい声！すべてが良い！先生の講義が大好きです！

先生の授業での工夫が、学生のやる気につながっていることがわかりますね！



※上記コメントは、投票いただいたコメントに一部修正を加えて掲載しています。

主催：教育開発支援機構「学生が選ぶベストティーチャー賞」実行委員会